

16 詩2 比喩表現を読み取る

組	
番号	
氏名	

1 次の詩を読んで問いに答えなさい。

蟻ありと空と僕の骨

生徒作品

ありんこには ①骨がなくて
人間には ②骨がある

③僕には骨がなくて
ありんこには ④骨がある

空から見えた 僕と蟻

あの歪んだ水平線が僕なら
蟻は一ミリもブレずに瞳に飛び込む

千ヘクトパスカルでへこたれる僕
⑤自分の何倍もある夢をかつぐ蟻

僕には ⑥骨がなくて
ありんこにこそ ⑦骨がある

(仙台中学校教育研究会国語部会編『こだま』第54号所収)

① ア僕には骨がなくてとありますが、この部分の「骨」と同じ意味で使われている「骨」を、①～⑤から探して答えなさい。(一つとは限りません。)

③、④、⑤

② ア僕には骨がなくての「骨」は何を表していますか。簡潔に答えなさい。

(例) 強い意志

③ イ自分の何倍もある夢とありますが、これは何を表していると思いますか。想像して簡潔に答えなさい。

(例) 自分の体の何倍もある食べ物(をかついでいること)

注 「ウのように(な)」という言葉を用いてたとえる比喻表現を直喩という。

調 直喩に対して、「この詩の「僕には骨がなくて」の「骨」のように、「ウのように(な)」という言葉を用いずにたとえる表現をなんとというか、調べてみよう。